

西大和つうしん

2023年1・2月号
No.471



山岳宗教の聖地大山(伯耆富士)《2022.10.16》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第471号 (2023年1・2号)

【目次】

1 月度山行計画.....	2
2 月度山行計画.....	3
1・2 月度カレンダー.....	4
山行・行事等参加メモ.....	5
山行報告	
・例会山行2 《10/15-16》 中国山地 大山（前田）.....	6
・例会山行1 《10/30》 室生山地 大洞山～尼ヶ岳（亀高）.....	7
・例会山行1 《11/6》 生駒山地 千光寺～信貴山（橋本）.....	8
・例会山行2 《11/27》 室生山地 天神山～初瀬山～巻向山（藤井）.....	8
・例会山行2 《12/4》 大峰山脈 青根ヶ峰～吉野山（亀高）.....	9
・例会山行1 《12/11》 生駒山地 国見山～交野山（佐々木）.....	10

1 月 度 山 行 計 画

～新春の橿原神宮にお参りして、畝傍山から甘樫丘を巡ります～

新春山行

例会山行 1 中部大和の山 《畝傍山～甘樫丘》

【日 程】 1月8日（日） （L 島崎）

※ 参加者はリーダーまで申込み（12月25日締切り）

【集 合】 近鉄新王寺駅 8:30

【交 通】 新王寺 8:39⇒9:02 西田原本 9:07⇒9:19 橿原神宮前

【コース】 橿原神宮前駅～橿原神宮～畝傍山～甘樫丘～橿原神宮駅

※ 歩行距離：約 8km

※ お椀とお箸をご準備ください。（リーダーがぜんざいを用意していただきます。）

～三峰山で雪と遊ぼう！！～

例会山行 2 台高山脈 《三峰山 1,235m～平倉峰》

【日 程】 1月15日（日） （L 亀高）

※ 参加者はリーダーまで申込み（1月2日締切り）

【集 合】 上牧町役場前駐車場 6:30

【コース】 青少年旅行村駐車場(8:30)～不動滝コース登山口(9:00)～不動の滝(9:30)～避難小屋(10:50)～三峰山山頂(11:30)～平倉峰(12:00 昼食)～三峰山山頂(13:10)～八丁平(13:20)～三畝峠(13:30)～避難小屋(13:40)～休憩小屋(14:20)～駐車場(15:00)

※ 天候によっては、三峰山山頂までの山行とします。

※ 歩行時間：約 6 時間 30 分（休憩時間を含む）

～琵琶湖の展望と雪山を楽しもう！！～

例会山行 2 野坂山地 《赤坂山 824m》

【日 程】 1月22日（日） （L 藤井）

※ 参加者はリーダーまで申込み（1月8日締切り）

【集 合】 JR王寺駅 6:30

【交 通】 王寺 7:01⇒7:39 大阪 7:45⇒9:26 マキノ 10:00⇒（湖国バス）⇒
10:13 マキノ高原

【コース】 マキノ高原～(1h45)～栗柄越～(15)～赤坂山～(10)～栗柄越～(1h30)～マキノ高原

※ 歩行時間：約 4 時間（無雪期・休憩時間含まず）

※ 歩行距離：約 8.4km

2 月 度 山 行 計 画

～小さな峰々をつなげて、アルプスを楽しみましょう！！～

岩山「紅山」を登ります

例会山行1 播磨の山 《小野アルプス縦走》

【日 程】2月5日（日）（L橋本）

※ 参加者はリーダーまで申込み（1月22日締切り）

【集 合】上牧町役場前駐車場 6:30

【コース】温泉ゆぴか～高山～日光峠～前山～愛宕山～安場山～総山～アンテナ山～
惣山～紅山～福甸峠～鴨池公園駐車場

※ 歩行時間：約5時間（休憩時間含まず）

※ 歩行距離：約8km（縦走コース）

※ 車で行けない時は、少し時間はかかりますが電車で行きます。（電車で行く
事が確定した場合、集合場所・時間を改めて連絡します。）

～ふわふわの雪景色を見に行きましょう！！～

例会山行2 台高山脈 《明神平～明神岳 1,432m》

【日 程】2月19日（日）（L野路）

※ 参加者はリーダーまで申込み（2月7日締切り）

【集 合】上牧町役場前駐車場 6:00

【コース】大又林道～明神平～明神岳（ピストン）

※ 無雪期の歩行時間：約3時間30分（休憩時間を含む）

※ 積雪期の歩行時間：約6時間（休憩含めると数倍時間がかかります）

※ 歩行距離：約8km

西大和山の会 カレンダー

1 月		2 月	
1 日		1 水	
2 月		2 木	
3 火	県連理事会	3 金	
4 水		4 土	
5 木		5 日	例会山行1《小野アルプス縦走》(橋本)
6 金		6 月	
7 土		7 火	県連理事会
8 日	例会山行1《新春山行・畝傍山～甘樫丘》(島崎)	8 水	
9 月		9 木	
10 火		10 金	
11 水		11 土	
12 木		12 日	
13 金		13 月	
14 土		14 火	
15 日	例会山行2《三峰山～平倉峰》(亀高)	15 水	
16 月		16 木	
17 火		17 金	
18 水		18 土	
19 木		19 日	例会山行2《明神平～明神岳》(野路)
20 金		20 月	
21 土		21 火	西大和つうしん原稿締切
22 日	例会山行2《赤坂山》(藤井)	22 水	
23 月		23 木	
24 火		24 金	
25 水		25 土	
26 木		26 日	
27 金		27 月	
28 土		28 火	
29 日			
30 月			
31 火			

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)		1/8 例会1	1/15 例会2	1/22 例会2	2/5 例会1	2/19 例会2	
			畝傍山～ 甘樫丘	三峰山～ 平倉峰	赤坂山	小野アルプス 縦走	明神平～ 明神岳	
1	都築							
2	藤井				LO			
3	島崎		LO					
4	村田							
5	勝尾							
6	杉村							
7	橋本					LO		
8	亀高			LO				
9	野路						LO	
10	杉森							
11	上田							
12	永井							
13	岩田							
14	佐々木							
15	玉野							
16	前田							
17	岩崎							
18	岡崎吉男							
19	岡崎八重子							
20	中尾							
合 計								
緊急連絡先								
HP 編集者			島崎	亀高	永井	橋本	亀高	

L:リーダー、○:参加、◎:車

※山行参加の回答は、リーダーに山行2週間前までにお知らせください。

※HPの会員の広場に掲載している「山行リーダーのための例会山行までの流れ」を参照して下さい。

山行報告

例会山行2 中国山地 大山 1,709.4m

【日程】10月15日(土)～16日(日)

【参加者】L 杉森・SL 藤井・島崎・杉村・亀高・野路・上田・永井・佐々木・玉野・前田
(11名)

10月15日(土) 晴れ

【ｺｰｽﾀｲﾑ】オークワ香芝インター店(8:00)⇒赫山 SE(12:20/55 昼食)⇒江府 | C(13:10)⇒
緑水園・虹の村バンガロー(14:15)

前日まで大山は雨予報でやきもきしていたが、S 気象担当の好判断で実施決定し、晴天に恵まれた。宿泊地の緑水園には、大浴場もあり、バンガローは、1階が食堂、2階が2段ベッドの寝室で、快適に過ごせる素敵な施設で、男女別に2棟利用した。夕食は、すき焼きを囲んでお酒を楽しみながら、Nさんのギター演奏により山の歌を合唱するなど和気あいあいと団欒した。
(記：前田昌信)



10月16日(日) 晴れ

【ｺｰｽﾀｲﾑ】緑水園・虹の村バンガロー(6:00)～大山駐車場(7:05)～夏山登山口(7:17)～
三合目(8:10)～六合目(9:06/15)～八合目(9:58)～弥山山頂(10:26/55 昼食)～
六合目(11:55)～三合目(12:30)～登山口(13:18)～大山駐車場(13:30)



2日目も気持ちの良い真っ青な晴天で、登山口から、階段が続くが、6合目付近からは景色も良くなり、日本海も見え疲れが薄らいだ。8合目から上部は、木道になって歩きやすく、特に危険なところもなく、景色を楽しみながら山頂に着いた。ただ、山頂から剣ヶ峰方向は崩落が進んでいるように感じられ、いずれ弥山にも登れなくなるのではと思った。天気も良く、良い季節だったこともあり登山者が多く、高松からの60名の団体などもあり、すれ違いの待ち時間が多かった。全体として親子連れなど若い人が

多いのが印象的で、若い登山者はまだまだたくさんいるのだなと思った。登りの時はあまり感じなかったが、下りになると紅葉が始まっているのが感じられた。下山時は、阿弥陀堂から来た道を変えて大山駐車場方向へ降りた。

計画よりも早く下山することができ、帰り道は、Kさんの好判断で神戸JCTから新名神に入り高槻回りで近畿道に入ったことにより、ほとんど混雑に巻き込まれることなく、スムーズに帰宅することができた。
(記：前田昌信)



例会山行1 (体験山行)

室生山地 大洞山 雌岳 985m 雄岳 1,013m～尼ヶ岳 958m

【日 程】10月30日(日)快晴

【参加者】L 藤井・SL 上田・島崎・杉村・亀高・杉森・永井・佐々木・玉野
(会員9名・一般1名 合計10名)

【コース】真福院駐車場(8:50)～大洞山登山口(9:20)～大洞山雌岳(10:15)～
大洞山雄岳(10:45)～三ノ峰(11:30/45)～倉骨峠(11:55/12:27 昼食)～大タワ(12:40)
～尼ヶ岳(13:20/35)～大タワ(14:12)～倉骨峠(14:30)～(石畳の道)～桔梗平(15:25)
～分岐(16:05)～真福院駐車場(16:16)

車は国道422号から桜まつりで有名な「三多気(みたけ)の桜」の下を通って、狭い道を真福院へ。真福院から大洞山へと向かう。いつになく雲一つない快晴で正面から射す朝日が眩しい。30分程で車道に出た。車道を横切ったところが大洞山雌岳への登山口。整備された人工林の急登の階段を喘ぎながら登ること1時間。視界が開け、雌岳に到着。山頂からは関西のマッターホルン・高見山の雄姿が展望できる。雄岳までは緩やかな稜線歩き。約30分で、本日の最高峰大洞山雄岳1,013mに到着した。素晴らしい展望と山座同定もソコソコに尼ヶ岳に向かう。



尼ヶ岳へは、大洞山から一旦下り、倉骨峠・大タワを経て登り返す。倉骨峠への下り道では、いくつかの小ピークを越える。ピークの一つの三ノ峰で、下る方向を間違えて登り返したため、若干のタイムをロスした。倉骨峠に着いたところで、昼食でエネルギーを蓄え、最後の目標尼ヶ岳へと向かう。尼ヶ岳は、標高958mとそれほど高くないが、「伊賀富士」とも呼ばれる独立峰で、頂上から360度のパノラマが展望できる。北には伊賀上野の街から鈴鹿の山並み、東に津・松阪から伊勢湾、南には縦走してきた大洞山とその向こうに台高山



脈、南西には大峰山系、西には室生の山々とはるか彼方に二上山から金剛山に続く見慣れた稜線も見える。倉骨峠からの復路では大洞山は経由せず、苔むした石畳の道を行く。ふかふかの苔に覆われた石畳は2km以上も続き、良い雰囲気。ただ、このところの好天続きのため、苔の潤いが不足しており、梅雨の季節ならもっと幻想的なジブリの世界が見られたのでは、と思われた。とは言え、今は秋。苔むした石畳だけでなく、時折現われる紅葉を楽しみながら、真福院まで戻った。

(記：亀高茂)

例会山行1 (公開山行) 生駒山地 千光寺～信貴山 437m

【日 程】11月6日(日) 晴れ

【参加者】L 島崎・SL 杉森・都築・橋本・亀井・永井・佐々木・玉野
(会員8名・一般4名 合計12名)

【コースタイム】元山上口駅(8:40)～千光寺(9:40)～鳴川峠(10:30)～鐘の鳴る丘(11:22/55 昼食)～十三峠(12:25/30)～高安山分岐(13:47)～信貴山(14:32)～朝護孫子寺(14:55)～信貴山東バス停(15:30)～信貴山下駅(16:04)

元山上駅にて集合し自己紹介をした後、千光寺を目指し歩く。何度かこの道は歩いているが住宅街の中の道をいまだに覚えることができない。緩やかな上り坂を歩き千光寺を通過して、生駒縦走路に入る。「鐘の鳴る丘」の展望台から大阪平野、奈良盆地、色づく山々を一望でき超気持ちいい!! 青空の下で昼食を済ませ信貴山へ下る。



朝護孫子寺では元気に過ごせたことの感謝と、無事に新しい年を迎えられますようにとお願いした。信貴山下駅で解散。全長約 15.2 kmよく歩きました。歩きながら参加者の方々と登山の話の色々させて頂いたり、花や木々の写真を撮られたり。すがすがしい秋の一日を楽しめた公開山行となりました。

(記：橋本紀子)

例会山行2 (地図読み山行) 室生山地 天神山 455m

【日 程】11月27日(日) 晴れ

【参加者】L 野路・SL 島崎・藤井・杉村・橋本・亀高・杉森・佐々木・玉野・岩崎
(10名)

【コースタイム】長谷寺駅(7:40)～愛宕山(8:10)～天神山(9:30)～温泉跡(11:27)～(昼食 11:47/12:16)～P372(13:22/34)～車道(14:12)～長谷寺駅(14:50)

地図読み山行。GPSに頼らず地図と磁石のみでルートファインディングをする。秋晴れの長谷寺駅からスタート。国道を越え民家の裏山の道のない急斜面から登る。木々の合間から美しい紅葉に染まった長谷寺本堂が望まれる。ほどなく平坦地に出て小さな祠のある愛宕山。ここから地図を見て方角を確認しながら天神山を目指す。踏み跡が不明瞭ながらも、ここまでは順調に来て展望のない天神山に到着。

下山方角を間違えて登り返したが、軌道修正をして西に進み木々の間から初瀬ダムが見えるところまで来て、サアここから道がない!! あちこち探したが見つからず GPS で確認す

ると下山地点は間違っていないということで、踏み跡のない急斜面を温泉跡のある道路に下った。ここには長谷寺観光の車がたくさん駐車していた。暖かい秋の日差しを浴びて昼食をとり、次は初瀬山を目指すが見つけられない。結局地図上のルートより南の地点から西に進むが倒木だらけで廃道になってしまっている。初瀬山に行くには時間的に無理と判断し、372mピークを目指し急斜面をよじ登る。テープがあっても途切れてしまったりするが何とかピークに到着。今回はここまでで下山することになった。



下山路も不明瞭な踏み跡をたどるが予定していたより大きく迂回する道を下ってしまっていた。

今回は登山道が途切れていたり、完全に廃道になっていたりして予想外に苦戦することになった。長年山に登っているがまだまだ勉強不足で、改めてリーダーのNさんの洞察力には感服した。方角や地形の読み方など確認することができて、有意義な地図読み山行になった。途中までしか行けなかったが、またリベンジしたいものだ。

(記：藤井益子)

例会山行2 大峰山脈 青根ヶ峰 858m～吉野山

【日程】12月4日(土) 曇り

【参加者】L上田・SL亀高・杉森・佐々木・玉野・岩崎(6名)

【コース】大滝バス停(8:58)～登山口(9:25)～青根ヶ峰(11:00)～西行庵(11:37)～金峰神社(11:54/12:20 昼食)～高城山(12:45)～花矢倉展望台(13:08)～ヤドリギ観察(13:37)～金峰山寺(14:07)～吉野駅(14:34)

春は花見で有名な吉野山。今回は紅葉もほぼ終わった初冬に訪れた。近鉄大和上市駅からコミュニティバスに乗り、大滝バス停で下車。蜻蛉の滝に至る遊歩道と並行する山側の舗装された林道を歩く。しばらく行くと林道が終わり、音無川沿いのなだらかな登山道となるが、両サイドは吉野杉の森で、紅葉も桜もない。森が開け、青根ヶ峰への登り口から頂上へ。集合写真撮影の後、反対側に下ると、お地蔵さんと「女人結界」の古い石碑。青根ヶ峰から先の奥駈道は、昔は女人禁制だったのか。青根ヶ峰は、吉野から熊野本宮大社に至る大峰奥駈道の最初のピークだ。「山上ヶ岳 17km」の道標があった。ここから南へ、女人禁制の山上ヶ岳を経て熊野本宮大社に至る長い道のりだ。

この奥駈道を北西方向に吉野へと向かう。このあたりは吉野杉が切り出されて森が開け、その後桜の苗木が植えられており、鹿の食害から守る金網のカバーには、寄付者の名札が掛けられている。奥千本のさらに奥、「22世紀吉野桜を愛でる会」が来世紀に向けた桜の植林事業を行っているとのこと。西行庵と義経隠れ塔に立ち寄り、歴史に思いを馳せた後は、金峰神社の休憩所で食欲を満たす。



昼食後は高城山、花矢倉展望台と、春には満開の上千本から中千本を一望できる展望所に立ち寄りながら、吉野駅へと向かう。

桜は葉を落とし、小枝まで良く見えるが、枝先のところどころに細かい枝の丸い塊が見える。近寄って観察すると枯れ枝ではなく、緑色に青々と鳥の巣のように密集して茂っている。ヤドリギという寄生植物だ。ヨーロッパでは、冬枯れの枝先で青々と茂っていることから、「幸運をもたらす神聖な樹」や「永遠を象徴する恋人の樹」と言われているとのこと。とは言え、吉野の桜にとっては、たまったものではなかろう。

吉野山のメインストリートを時々ショートカットしながら降りてくると、徐々に行き交う観光客が増えてくるとともに、まだ、美しく紅葉した落葉していない紅葉も増えてきた。



晩秋の吉野山は登山客も少なく、雨の予報もあり、あまり期待していなかったが、期待を超える山行となった。

吉野から始まる大峰奥駈道は、熊野大社に至る総延長 100km に渡る長い道のりだ。急峻な山岳が連なる大峰山脈の尾根を沿うようにして続いている。西大和山の会に入会後に数度に分けて大半の区間は踏破したにも拘らず、青根ヶ峰から四寸岩山 1326m を経て大天井岳 1434m に至る区間だけは、踏破できていない。地味なコースではあるが、近いうちに踏破したい。

(記：亀高茂)

例会山行1 生駒山地 国見山～交野山

【日 程】12月11日(日) 晴れ

【参加者】L岩田・SL藤井・島崎・杉村・橋本・野路・上田・永井・佐々木・玉野・岩崎
(11名)

【コース】JR 河内磐船駅(9:33)～龍王山(10:41)～旗振山(11:04)～交野山(11:44)～
白旗池(12:20/13:00 昼食)～国見山(13:19)～JR 津田駅(14:26)

JR 河内磐船駅を下車、住吉神社からかいがけの道へと進む。かいがけの道とは住吉神社から奈良へ抜ける河内と大和を結ぶ古道で、谷を切り開いて造ったことから峡谷道または貝掛道と呼ばれているようだ。古道には色々なお地蔵さんや昔の人々が造ったであろう石仏などがあり風情を楽しめる山道だった。最初はなだらかで経験したことのない竹藪の中を山道が続いた。だが、山頂に到達するにはさほど長く無い登りがあり、また次の山頂を目指すにはもちろん降りもある。低山と甘くみ



ていたが流石に龍王山、旗振山、交野山、国見山と4つの山越えは歩きごたえがあった。

お天気にも恵まれて交野山の山頂にある観音岩からの景色は大阪平野が一望でき、素晴らしい景色だった。また、国見山からは大阪、神戸、京都と遠くまで見渡せ、京都タワーも確認できた。お昼の白旗池での昼食はのんびりとしたもので、1さんのシフォンケーキも最高に美味しくとっても楽しい山行だった。

(記：佐々木喜代美)



西大和つうしん
第 471 号 (2023 年 1・2 月号)
2022 年 12 月 25 日発行

発行責任者 永井章夫
編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>